

秋田県五城目町
朝市と城のある町

みんなの町議会

収穫に汗する若い力で未来へつなぐ

(馬場目中村)

主な内容

- 9月定例会の概要 2
- 決算特別委員会 3～5
- 一般質問に8名登壇 8～16
- 議会改革調査特別委員会 中間報告 ... 18

Contents

No.168
2026.10.1

決算特別委員会

より良い暮らしに結びついているか



決算特別委員会

決算特別委員会は、9月14日～17日までの4日間の日程で行われた。付託された議案は、令和7年度一般・特別会計歳入歳出決算など7議案であり、審査の結果、全議案を全会一致で認定すべきものとした。



委員長
松浦 真

決算特別委員会

委員長 松浦 真
副委員長 中村 司
委員 小玉 正範
委員 石川 重光
委員 工藤 政彦
委員 椎名 志保
参事 石川 交三
(議会議長)

審査日程

9月14日

委員長挨拶・審査方針説明
午前…総務課、議会事務局
午後…消防本部、税務会計課、住民生活課、商工振興課

9月15日

午前…建設課
午後…生涯学習課、学校教育課、まちづくり課

9月16日

午前…農業委員会、農林振興課
午後…地域福祉課、健康推進課、子育て支援課

9月17日

午前…現地視察
午後…委員打合せ
認定について採決
審査総括

全会一致で可決

委員会提出議案第7号 館岡隆議員に対する 辞職勧告決議(全文)

町議会議員である館岡隆議員が、介護保険料を滞納していた事実が決算特別委員会において明らかとなった。

議員は、法令を遵守するとともに、町民の信頼に応える高い倫理観と責任ある行動が求められる立場にある。にもかかわらず、公租公課である介護保険料を滞納したことは、議会及び議員に対する町民の信頼を損なうものであり、その責任は重大である。

また、館岡隆議員は、平成28年9月にも同様に介護保険料を滞納したことにより、本議会から問責決議を受けている。今回、再び同様の事案を生じさせたことは極めて遺憾であり、議員としての自覚及び責任が厳しく問われるものである。

よって、本議会は館岡隆議員に対し、今回の事案についてその責任を深く認識し、町民に対して誠実に説明するとともに、議員の職を辞するよう強く勧告する。

以上、決議する。

令和8年9月18日

五城目町議会

(佐沢由佳子)

9月 定例会

議会の経過

9月定例会は9月7日から18日まで12日間の日程で開かれた。

初日

4件の議員研修報告の後、荒川町長は行政報告で
○令和7年度の財政状況
○公共施設等総合管理計画の見直し
○五城目郵便局長を集落支援員に委嘱
○五城目町総合発展計画の後期基本計画策定
○令和8年度の町税賦課状況
○令和7年度各会計の決算概要



希望あふれる若人(二十歳のつどい)

○町有施設の指定管理期間の見直し
○赤倉山荘のサウンディング型市場調査の実施

○廣徳寺橋災害復旧工事の進捗状況
○「二十歳のつどい」の開催などについて述べた。

その後、委員6名を選出し決算特別委員会を設置。

2日目

一般質問に6名が登壇。熊・イノシシ対策、企業誘致の進捗状況、健康寿命の延伸、町の広報活動の充実、子育て支援拠点施設、町有施設の今後などについて質問した。

3日目

2名が一般質問に立ち、子どもの居場所づくり、街路樹管理、学校給食の現状と今後について質問。

当局より議案11件、報告案件4件が上程された。

4日目

各常任委員会。

8日目～11日目

決算特別委員会各課室の令和7年度決算について審査。

現地視察、審査総括。

最終日

決算特別委員長の報告の後、議会運営委員会が開催され、委員会提出議案を提出。全会一致で可決された。その後、各常任委員長報告をし、全議案を全会一致で可決、認定、報告済みとした。また、継続中の陳情1件を不採択とした。

※委員会提出議案は3ページ

定例会で決した主な内容

- 町の境界変更について
- 令和8年度一般会計補正予算(第4号)の主なもの
 - ・農業経営継続支援事業 1000万円
 - ・林道補修事業 610万円
 - ・道路補修事業 647万円
 - ・街路維持補修事業 514万円
 - ・プール水槽清掃ロボット購入 93万円
 - ・重層的支援体制整備事業 58万円
- 令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 令和8年度水道事業会計補正予算(第3号)



農業経営継続に支援

(佐沢由佳子)

人口減少時代を見据えた決算を問う

総務課

人口減少が続く中、自主財源の確保が課題。財政調整基金は前年度比1億4252万円増の13億970万円、20億円目標へ政策的な積み増しを指摘。公共施設10%削減目標に対し実績約1.5%にとどまり、計画的削減を求めた。DX推進は令和8年度から研修を重視し、計画策定と成果の可視化が急務と確認した。

議会事務局

全国市町村国際文化研修所での議員研修や、岡山県西粟倉村・東京都千代田区への県外視察研修を実施。会議録作成へのAI活用、広報「みんなの町議会」のカラー化の検討や、印刷業者の指名の条件緩和を指摘。

消防本部

消防指令システムを更新し、通信指令室から各車両への地図情報の送信が可能に。消火栓235基・防火水槽142基のうち49基が50年経過することを踏まえ消防水利の整備方針を確認。消防団員の減少を受け、地域の防災力の強化を指摘。

農業委員会

目標地図の作成や遊休農地解消の意向調査、農地台帳の整理を実施。タブレット端末の更新や国の農地台帳システムへの移行が課題。目標地図をより正確な情報に基づき整備し、誰もが確認できる環境づくりを求めた。

農林振興課

多面的機能支払交付金を23団体へ交付。ツキノワグマ対策として誘因樹木伐採の単価を見直すよう指摘。相続登記未了農地(大川地区で約3割)の集約化が課題。特産キイチゴは商品開発が進んでおり、生産者増加へ6次産業化と単価引き上げを指摘。

地域福祉課

個別避難計画の作成は0件にとどまり、民生委員はなり手不足で3地区が不在。間口除雪や金婚を祝う会の運営見直しを確認。

確保の観点から集約・コンパクト化を検討。

税務会計課

現年・滞納繰越分を合わせた収入率は前年比0.85ポイント増の90.12%。担税力に応じた徴収強化と適切な時効管理を求めた。国保特別会計は、税率シミュレーションを毎年提示することを確認。

住民生活課

空き家は730件に上り、解体撤去費補助は21件実施。官民連携協定を活用した空き家0円譲渡の仕組みを整備。防災監の配置で気象台などとの連絡強化が図られた。9月2日の大雨で床上・床下浸水した55世帯に特別給付金を支給し、防災マップを全面改定した。



消防指令システム更新



高岳地区の基盤整備事業の視察

健康推進社課

带状疱疹ワクチン接種303件に助成。

子育て支援課

子育て世帯応援給付金などで、子ども1人当たり計4万円を給付。出生数の低下を踏まえ、母子支援の強化を求めた。



防災情報システムの視察の様子

商工振興課

全町民に1人2万円の商品券を発行し、生活支援と町内経済の活性化を図った。朝市活性化支援員を配置し、新規出店者の募集と情報発信に努めた。指定管理施設は価格設定や集客の仕組みづくりを検討すべきと指摘。

建設課

寺院橋の補修や外環状線の舗装改良を実施。廣徳寺橋は上部工施工を令和8年度に繰越した。恋地大橋は詳細調査を実施し、健全度が最も低く優先的に補修。公営住宅は130戸中93戸が入居。矢場崎住宅は政策空き家として確保していることを確認。

特別会計

国民健康保険

国保ヘルスアップ事業でナッジ理論に基づく受診勧奨を実施。特定健診の受診率向上やデータヘルスの活用を評価。

後期高齢者医療

出前健康相談を全7地区で実施。未実施の町内会へのアプローチを指摘。

介護保険

第9期介護保険事業計画の2年目、基準保険料は月額7,200円。介護給付費準備基金は約3億3千万円。第10期は保険料引き下げの方向で検討。介護保険料の収納状況の審査で、議員1名の滞納繰越が判明。

障害認定

審査件数50件(町内26件)、新規認定2件。

企業会計

水道事業会計

給水人口は前年度比142

生涯学習課

各地区公民館は館長会議で情報共有し活動の平準化を図る。文化の館は県が譲渡・廃止を検討中で、収蔵品は友愛館へ移す方向。屋内温水プールは支出約5200万円に対し収入約1000万円で、老朽化が進み存続・更新の判断が課題。

学校教育課

教育留学は令和7年度から町単独事業として実施し、小中学生23名が参加した。給食費無償化基金は国の食料費交付を踏まえ積立額を見直す。千代田区との児童交流事業は、民間協力者の高齢化により受入が困難であるため、本年度は実施なし。放課後児童クラブは対象が全学年に拡大。

まちづくり課

町制施行70周年記念事業、五城目高校の昼食支援、乗合タクシー利用促進などを実施。ふるさと納税額減少の要因の分析不足を指摘し、専門性を持った人員体制の整備を求めた。地域おこし協力隊の

下水道事業会計

水洗化人口4,997人、水洗化率83.9%。経常収支は黒字だが経費回収率は63.5%にとどまり、一般会計に依存。令和8年度から使用料を約20%改定し、経費回収率9割を見込む。樋門2カ所にフラップゲートを設置した。

現地視察

防災情報システム、寺院橋・廣徳寺橋の橋梁工事、消防指令システム、高岳地区基盤整備事業をそれぞれ確認した。



廣徳寺橋の復旧状況

スポーツフェス初開催



盛り上がり期待

協働して福祉支える

- 委員** 重層的支援体制整備事業における社会福祉協議会（以下社協）の位置づけ、役割と委託業務内容の説明。
- 当局** 6つの事業で構成され、その全事業の実施が必須である。
- ①相談支援
 - ②参加支援
 - ③地域づくり支援
 - ④アウトリーチ対応
 - ⑤多機関協働
 - ⑥支援プラン作成
- これまで地域福祉について町や社協がそれぞれに事業を行ってきた。その点を整理し、本事業を協働していく。⑥の支援プラン作成は未実施であり、プラン案の作成、制度の勉強会・研修会の実施を社協に委託した。同事業は、令和9年度より本格運用を開始予定。

（中村 司）

教育民生 常任委員会

- 委員** スポーツフェスの概要は。
- 当局** 10月18日（日）に開催する。
- ・元プロバスケットボール選手・長谷川誠氏のトークセッションと小中学生向けバスケットボールクリニック
 - ・グラウンドゴルフ大会（町内対抗）
 - ・バスケットボールフリースロー大会
 - ・野球ストラックアウト大会
- （的当て得点を競う）
- ・ピックルボールやモルック体験
- 新規購入したバスケットゴールのお披露目も兼ねる。今後も町民が楽しめるイベントとして継続していきたい。

老人福祉施設の 環境改善へ

- 委員** 老人福祉施設措置費増額の内容は。
- 当局** 措置入所者が増加したことに加え、介護職員の賃上げと職場環境改善支援事業、介護報酬改定、物価高騰対策による。
- 委員** 養護老人ホーム「森山荘」の入居状況は。
- 当局** 定員50名に対し45名入所。町の措置対象者33名（内1名は秋田市内施設入所）



セーフティネットを担う「森山荘」

農業経営支援に 予想を超える申請



新規導入で意欲向上へ

- 委員** 農業経営継続支援事業費補助金が1000万円の追加になっているが、その理由は。
- 当局** 農作業機械の新規購入や修理への補助事業に関して、申請者が当初の予想を大幅に上回ったことから、予算を追加することとなった。
- 委員** 提出された申請は、すべて受け入れるのか。
- 当局** 今回の補助制度の条件をクリアしている方を対象としている。残念ながら対象外の方もいる。

どうする街路維持

- 委員** 514万円の増額補正の内容は。
- 当局** 街路樹の根上りによって、歩道アスファルトが変形したり、コンクリートブロックの位置がずれたりしている部分の補修が必要となった。また、住民から要望のあった街路樹剪定費用が追加となった。



根上り状況

（小玉 正範）

総務産業 常任委員会

浄水場の老朽化対策は

- 委員** 浄水場が老朽化しており、多額の修繕費がかかっている。
- 委員** 町長から、建替への対象になりえるとの説明があったが、どうか。
- 当局** 浄水場は建設してから60年以上が経過し、改築対象の一つとなっている。毎年修理代がかかっているが、今回の大きな修理で当面は保てるものと考えている。



老朽化が進む浄水場（広ヶ野）

災害時の協力体制は

町長 多岐に協定を結んでいる

No.	協定・覚書等の名称	協定締結相手	締結等 年月日	担当課
町1	震災等大規模災害時における相互応援に関する協定	東京都千代田区	H10. 5. 26	まちづくり課
町2	震災における防災活動及び平常時における防災活動への協力に関する協定書	イオンスーパーセンター㈱	H18. 12. 1	住民生活課
町3	災害時における応急対策に関する応援協力協定	五城目建設業協会	H20. 9. 1	住民生活課
町4	災害復旧時の協力に関する協定書	東日本電信電話㈱秋田支店	H21. 9. 1	住民生活課
町5	災害時の協力に関する協定書	東北電力㈱秋田営業所	H21. 10. 1	住民生活課
町6	災害時の情報交換に関する協定	国土交通省東北地方整備局	H23. 9. 1	住民生活課
町7	災害時における秋田県及び市町村相互の応援に関する協定書	秋田県及び県内25市町村	H24. 1. 20	住民生活課
町8	特設公衆電話の設置・利用に関する覚書	東日本電信電話㈱秋田支店	H24. 9. 21	住民生活課
町9	災害時における物資等の輸送並びに物資拠点施設の運営に関する協定書	ヤマト運輸㈱秋田主管支店	H25. 7. 22	住民生活課
町10	災害協力に関する協定書	㈱秋田銀行	H25. 8. 27	住民生活課
町11	災害時等における相互協力に関する協定書	五城目警察署	H25. 9. 2	生涯学習課
町12	災害協力に関する協定書	㈱北都銀行	H25. 9. 27	住民生活課
町13	五城目町と日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定書	秋田中央郵便局、五城目郵便局、内川郵便局	R元. 11. 6	健康福祉課 学校教育課 建設課 まちづくり課 商工振興課
町14	災害時における液化石油ガス及び応急対策用資機材の調達に関する協定書	一般社団法人秋田LPガス協会	H26. 10. 20	住民生活課
町15	災害時等の自治体支援に関する覚書	国土交通省東北地方整備局 秋田河川国道事務所	H27. 1. 21	住民生活課

五城目町災害協定先一覧（覚書含む、消防締結分除く）

今年2月に秋田県解体工事業協会、3月に東北電力ネットワーク㈱と新たに協定を結んだ。

（株）イオンスーパーセンターとは、食料品や日用品の物資供給の要請。東京都千代田区とは、応急体制に必要な職員派遣。東北電力ネットワーク㈱とは、倒木による停電や道路寸断の未然防止、支障となる樹木の事前倒伐について協定した。今後はホーム

令和7年1月から12月まで農作物の被害報告はなかったが、畦畔や農道の被害は多数あった。目撃情報は1件、駆除数は5頭であった。令和8年8月28日まで、町村の水田被害2件、富田と小倉の畑被害など4件。目撃情報は2件、駆除数は11頭である。

増えているイノシシ



箱罠と熊

その他に

○森山登山道の今後について

○災害対策について

○馬場目川再生について

を質問した

あなたにかわって 聞きました 一般質問



さいとう
齋藤

すすむ
晋

一般質問動画はQRコードから



災害備蓄倉庫内部

町長 町民の安全・安心のためハード面ソフト面における協力体制の構築が重要である。

平成10年以降・五城目建設業協会・小売業・通信事業者・千代田区・五城目警察署など

熊・イノシシ対策は万全か

齋藤 秋田県内で三百頭以上の熊が駆除されている。町の状況は。

町長 令和7年の目撃件数は166件、駆除数は80頭であった。令和8年8月28日時点の目撃件数は30件、駆除数は9頭である。昨年の同時期では、目撃件数30件、駆除数は17頭である。

ページなどに協定先一覧表を掲載し周知を図り、安全・安心に努める。

熊・イノシシの有害駆除は

齋藤 有害駆除は猟友会に依存しているが、猟友会に対する補助は、増やされたか。

町長 当初予算で猟友会への活動報酬・箱罠製作・箱罠センサー購入費・保険料などに176万円の補助を計上し、町民の安全・安心のため猟友会に対応を依頼している。

一般質問

8議員が登壇

我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

齋藤 晋 議員

- 森山について
- 災害対策について
- 熊・イノシシ対策について
- 馬場目川再生について

小玉 正範 議員

- 五城目高校の存続対策は
- 町の物価高対策は
- 公園の在り方は
- 町の企業誘致への進捗状況は

中村 司 議員

- 幸福度アップのため健康寿命延伸を
- 道の駅「悠紀の国五城目」について

佐沢由佳子 議員

- 町の広報活動の充実へ
- 公共施設の利用促進を
- 地域の人手不足対策について

石川 重光 議員

- 子育て支援拠点施設（こども家庭センター）について

松浦 真 議員

- A I データセンター誘致と地域産業について
- （仮称）三種五城目風力発電事業について
- 町有施設の今後について

工藤 政彦 議員

- 子育て支援拠点施設を核とした子どもの居場所づくりについて
- ダイサン跡地の利活用と町中心部の再構築について
- 五城目町が誇る櫟（けやき）並木を次世代につなぐ街路樹管理について

椎名 志保 議員

- 学校給食の現状と今後
- 町の観光振興、どう進める
- 農業経営継続支援事業の再検討を
- ごみ収集場所の見直しを

* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信中 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



健康寿命延伸をどう図る

町長 11月に「インターバル速歩」実施

中村 国保データベースによると、
①男女共に日常生活に制限を受け生活する期間（要介護2以上）が県平均より長い。
②一人当たりの外来医療費が県平均より20・2%高い。
③要介護認定率が1・5%、一件当たりの給付費が県平均より12・9%高い。
④特定健康診査受診率が県平均より2・7%低い。
これらの結果分析と評価は。
町長 国保加入者の平均年齢が県平均より高いこと、慢性疾患患者の併存や重症患者が多く受診していること。また特定健診の受診率が低く、病院受診時には重症化し、高額医療に繋がると考えられる。

◎平均余命と平均自立期間（令和7年度）（単位：年）

	男 性			女 性		
	平均余命	平均自立期間	日常生活に制限がある期間	平均余命	平均自立期間	日常生活に制限がある期間
五城目町	78.8	77.2	1.6	87.9	83.7	4.2
県	79.8	78.5	1.3	86.3	83.2	3.1
国	81.1	79.7	1.4	87.2	84.1	3.1

※「日常生活に制限がある期間」とは要介護2以上での生活期間

◎受診率と医療費及び介護保険（令和7年度）

（受診率・認定率：％・医療費：円）

	五城目町	県	同規模	国
特定健康診査受診率	38.1	40.8	46.9	38.7
1件当たり医療費	49,370	44,270	45,910	42,310
外来1件当たり医療費	30,990	25,720	25,960	25,500
1人当たり外来医療費	24,060	20,020	18,180	18,300
介護保険認定率	21.8	20.3	19.3	20.5
1件当たり介護給付費	90,530	80,161	75,689	59,071

※出典：国保データベースシステムより抜粋。



にぎわう道の駅へ

町長 特産品の開発や販路拡大を継続的な取り組みとしていくためには、実際に商品を作り、販売する民間事業者の力が不可欠である。町としても民間事業者の力を引き出せるよう、必要な支援を行っている。

中村 直売所における当町事業者の出品数が減少、五城目産の商品売上割合が5年間で43・1%から39・5%に低下している。町独自の特産品やお土産品の開発、PRや販促の必要がある。設置者である町としての責務をどう果たしていくか。

「悠紀の国五城目」の課題解決へ

あなたにかわって聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから

中村 健康寿命の延伸は、町財政負担の軽減につながる。どう取り組むか。
町長 健康と介護の中間であるフレイル状態を早期に見つけ、介護予防につなげる「フレイル健診」を実施している。

生活習慣病予防対策の一つとして、11月に「インターバル速歩」を実施予定。
健康推進課のみならず、関係課と連携し、健康づくりや介護予防に取り組む。

五城目高校「地域みらい留学」参加を

町長 県や高校と協議・検討し方向性を判断する

小玉 生徒にとつての五城目高校の魅力は何か。今後の見通しは。
町長 地域の人や仕事、自然、文化とのかかわりで学びを深め、少人数での学習指導や進路指導を受けられる点が魅力である。今年度の新入生は13人、全校生徒は42人。教育振興会では「魅力向上検討部会」を設置し調査・審議していく予定である。
小玉 全国から生徒を募集できることから、「地域みらい留学」への参加を検討してはどうか。
町長 五城目高校を全国に知ってもらい、新入生を確保するための選択肢の一つである。今後、県や高校との協議で検討し、方向性を判断する。



安全面の検討を

小玉 前回の答弁「公園は設置済み」には、町内から驚きの声が上がっている。この状況をどのように考えるか。
町長 過去に町内会からの要望はなかったため、公園は充足しているという理解。今回を機に認識の違いが明確になったことから、町内会に説明したい。
小玉 町内会からの要望があれば、町内に公園を整備するのかが。
町長 町内の公園設置から40数年が経過していることから新たな公園を整備する必要があるのか、樹木剪定や草刈りなどによる環境整備で対応できるのか。町として検討する必要がある。また、地域課題の解決や地域活性化

あなたにかわって聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから

西磯ノ目町内公園をどうする
小玉 前回の答弁「公園は設置済み」には、町内から驚きの声が上がっている。この状況をどのように考えるか。
町長 過去に町内会からの要望はなかったため、公園は充足しているという理解。今回を機に認識の違いが明確になったことから、町内会に説明したい。
小玉 町内会からの要望があれば、町内に公園を整備するのかが。
町長 町内の公園設置から40数年が経過していることから新たな公園を整備する必要があるのか、樹木剪定や草刈りなどによる環境整備で対応できるのか。町として検討する必要がある。また、地域課題の解決や地域活性化

化に向け、町内会と関係課などとのワークショップを開催し、その方向性を協議していくことも対応のひとつである。

物価高対策は

小玉 海外情勢による石油由来製品の高騰と円安も加わったこの物価高が、町民の生活へどんな影響を与えているとらえているか。
町長 食料品などの価格高騰へ多大な影響を与えている。円安の進行も相まって、町民の日常生活や地域経済、事業者活動において、光熱水費や燃料費、日用品などの負担が増大していることを大変憂慮している。

小玉 秋田市の通町・大町商店街では、一万円で一万五千円分の商品券を購入できる。本町でも町民が食費を削ることの無いように、高還元率の商品券など、何か対策を検討出来ないか。
町長 本町が独自に大規模な補助事業やプレミアムチケットなどを実施するには、多額の財源が必要であり、財政基盤を圧迫するため実施は厳しい。国が示す各種総合経済対策や、地方交付税などの財源

企業誘致の進捗状況は



待ち望まれる企業誘致

小玉 秋田市に国内最大級のデータセンターを設置する計画がある。IT関連会社が進出し、雇用につながる。この機会を町はどのように捉えているか。また、町への企業誘致についてはどうか。
町長 個別の企業誘致案件であるため、県や秋田市からの情報提供はない。今後、周辺自治体への説明会などの機会があれば建設業の参入を想定して参加し、情報提供に努める。また、地域課題の解決やスタートアップ・情報関連企業の誘致に取り組む。

措置を最大限に活用し、実効性のある施策を講じていくことが重要と考えている。

町に寄せられた声 どう受け止めたか

町長 本気で子育てと町の将来を
考えている証

石川 こども家庭センターの基本設計に反映出来ることと、出来ないことはなにか。

町長 相談者のプライバシー確保のため、事務室の入口ドアを擦りガラスのグラデーション仕様にする。また、観葉植物を効果的に配置し、窓口に通っている相談者が通路側から直接見えないように視線を遮る工夫をする。

相談室は仕切り壁を天井まで立ち上げ、声が外に漏れないよう施工。

感染症対策のための「施設専用の出入口」や「乳幼児専用の駐車スペース」の確保については、商業施設の制約があるため施工は難しい。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから

石川 多目的ルーム内で工作教室や親子体操などの他、本の読み聞かせや子どもと高齢者のふれあいサロンの開催が計画されている。限られたスペース、狭い空間の中で事業を展開出来るか。

町長 限られたスペースの中で相談・健診・交流の各事業を円滑かつ効果的に展開するため、時間帯や曜日による使い分けを基本に運営する。

石川 全保護者を対象に実施したアンケート調査に、子育て世代から貴重な意見が寄せられた。商業施設への移転に対する不安や厳しい意見も寄せられている。この声をどう受け止めているか。



こども家庭センター イメージ図

町長 商業施設内でのプライバシー確保に対する不安など、厳しい意見や不安の声が寄せられた。これらの懸念を施策の障害と捉えるのではなく、町民の皆様が本気で子育てと町の将来を考えられた証と受け止めている。子どもの遊び場や居場所については、1カ所に集約するのではなく、「多層的かつ機能分離型の整備」を軸に、今後検討を進める。

石川 イオンスーパーセンター五城目店への子育て支援拠点施設の設置は、5本の柱と45の施策の「子育て総合支援施設を設置し、妊娠から出産育児までの伴走型支援を進化させる」とした町長公約の具現化か。

町長 商業施設への設置計画は、公約を具現化するためのスピード・コスト・利便性において最適化を図った現実的、効果的な施策である。



こども計画書に重点施策として記載

施設の価値を高め存廃検討を

町長 「選択と集中」が不可欠



公共施設の有効活用を

佐沢 気軽に立ち寄れる「居場所」が求められている。広域体育館など、貸し切り利用のない時間帯を活用し、受付で名前を書き、低額な利用料を支払えば個人でも利用できる仕組みを検討してはどう

あなたにかわって
聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから

か。一つの施設をモデルに試行しては。

町長 利用者の利便性を高める有効な手法の一つと考える。団体利用との調整、安全管理、職員の負担など課題もあるが、「個人開放デー」や空き時間を活用した低額な個人利用など、柔軟な運用を検討する余地はある。利用ニーズや課題を検証し、持続可能な利用方法を検討していく。

佐沢 老朽化や維持管理費だけを考えるのではなく、今ある施設をどう活用するかという視点も必要ではないか。活用によって価値を高めながら残す施設と、必要性を見極めて廃止を検討する施設を選択することは、今後のまちづくりに重要な課題と考えるが、町の考えは。

町長 公共施設を有効活用し、価値を高める視点も重要である。公共施設管理計画を見直し、存廃を含めたあり方を整理している。今後は、活用して残す施設と、廃止・統廃合などを進める施設を検討し、将来のまちづくりにつなげていく。

佐沢 農作業や宿泊施設、飲食店、イベントなど、一時的に人手を必要とする場面は多

スポットワークで 人手不足解消を

町長 LINEは情報を広く届ける有効な手段の一つと認識しているが、現在は緊急情報の発信に活用している。公聴会や説明会などの情報発信についても、対象者や情報の公共性を踏まえ、効果的な活用を整理し検討していく。

佐沢 公式LINEを公聴会や説明会、イベントなど、町民に周知したい情報にも積極的に活用してはどうか。

町長 LINEは情報を広く届ける有効な手段の一つと認識しており、改善を進めていく。来年度にホームページの大規模なシステムリニューアルを予定している。

佐沢 町ホームページは、情報の場所が分かりにくい。利用者の目線に立ち、改善やリニューアルをする考えはあるのか。

広報活動の充実へ

い。働きたい人と事業者を短時間・単発でつなぐ「スポットワーク」を、民間事業者と連携し活用する自治体も増えている。地域の仕事と人材をつなぐ新たな仕組みを、人手不足対策として取り入れる考えは。

町長 スポットワークは、一時的な人手不足を補う有効な手段の一つと認識している。民間事業者との連携について、他自治体の事例や地域の実情を踏まえ、前向きに調査・研究を進めていく。



こども家庭センターに「こども食堂」を

町長 希望団体があれば支援していく

町長 こども食堂について民間主体の取組みを基本とする。実施を希望する団体から相談があれば、実施方法や場所などを一緒に検討し、実現に向けて支援していく。

工藤 こども家庭センターを、子どもや子育て世代が「遊ぶ・学ぶ・食べる・交流する」ことのできる身近な居場所として活用し、こども食堂と連携しながら、一体的な子育て支援に取り組む考えはないか。また、月1回程度モデル的に実施して、成果や課題を検証しながら、町の実情に合った取組みへと発展させていく考えはないか。

あなたにかわって

聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから

ダイサン跡地の活用で町中心部の再構築を

工藤 民間事業者への働きかけや今後の見通しを確認するとともに、商業機能だけでなく、福祉・子育て・交流などを含む複合的な拠点として活用し、町中心部の再構築につなげる考えはないか。

町長 町内13団体が「ふれあいサロン」として多世代交流に取り組んでおり、子どもの居場所づくりなどにつながる活動には支援していく。まずは庁内で協議した上で、必要に応じて関係団体と協議していきたい。

次世代につなぐ街路樹管理を

町長 現在も法的手続きに大きな進展はないが、破産管財人と状況を確認している。民間事業者による活用に向け、情報提供や関係者との橋渡しなどを検討する。また、立地適正化計画や総合発展計画後期基本計画において、買い物環境の確保や中心部のにぎわいづくりについて方向性を示していく。

工藤 50年以上かけて育まれてきた榎並木だが、太い主枝を大きく切り詰める「強剪定」により樹勢が弱まり、枯死している木も見受けられる。国土交通省の資料でも、樹勢を弱め腐朽への抵抗力を下させるとして、強剪定を止めることが示されている。安全性だけでなく町の財産である榎並木を次の世代へ引き継いでいくために、樹木の健全な生育と景観を両立させた長期的な管理を実施していくことが必要ではないか。

町長 現在の剪定・伐採は街路樹管理計画に基づき、歩行

公共施設の集約はいつ頃から行うのか

町長 本格的な集約や機能転換へ移行を早急に進めていく

松浦 町民センターや役場の老朽化が進む一方で、イオンへの子育て支援施設設置など公共施設が分散傾向にある。今後の集約はいつ頃から行うか。町総合発展計画後期基本計画には、その具体的なスケジュールや文言を入れるべき。町の考えは。

町長 現在、公共施設管理計画の見直しを進めている。大規模改修の時期を逸した施設が多く、事後修繕での対応には限界が近づいている。今まさに数年先を見据えて、本格的な集約や機能転換への移行を早急に進めていくタイミングである。具体的な工程表やスケジュールは、現在策定中の計画の中で整理している。

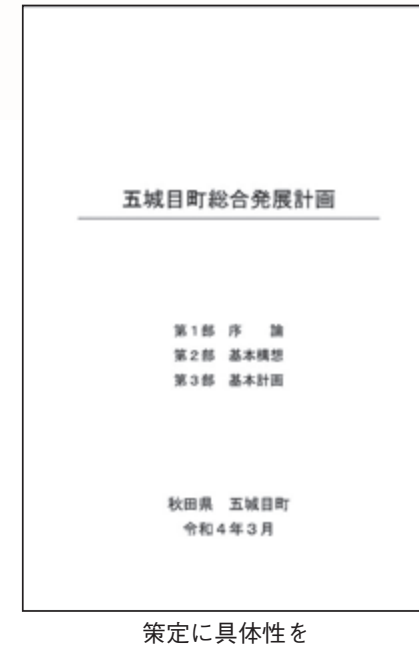
あなたにかわって

聞きました

一般質問



一般質問動画はQRコードから



策定に具体性を

松浦 岡山県美咲町の「賢く収縮するまちづくり（持続可能な行財政運営）」では、令和6年度の町の一般会計予算の10%が解体費となるぐらい思い切った集約を進めている。小規模自治体の「小規模多機能自治」という考え方を前提に、将来を見据えた行政運営を行っている。当町も思い切った決断で事業や施設廃止を決めていきつつ、地域おこし協力隊など様々な有効な

手立てや、お金を回す策も含めて考えていく必要があるのではないか。

町長 今後の厳しい財政運営や施設の老朽化を見据え、単なる維持管理ではなく、積極的に売却や解体、集約を進めていく方針で準備を進めている。

公共施設の存廃は

松浦 赤倉山荘の存廃検討会から「町の貴重な宝なので残していくべき」との答申があった。地元の大事な場所がなくなることに、勿体無いという声が出てくることは容易に想像できる。一方で、町がその答申を受けたとしても、将来負担を考えて大鉦を振るう覚悟が必要となる場面もあるのではないか。

町長 赤倉山荘の存廃検討会における答申をはじめ、それぞれの施設には長年親しまれてきた歴史や、町民にとって思い入れがある。それらの声や検討会からの提案は、非常に重く受け止めている。しかし、人口減少や財政が一段と厳しさを増す中にある



耐用年数が近づく町民センター



強剪定後



美しい並木

者や車両の安全確保、枯れ枝などによる事故防止を優先して実施している。職員による巡視・点検を行い、令和12年度を目途に樹木医などによる街路樹調査を実施し、必要に応じて計画を見直す。

また、強剪定を行った榎については、生育状況を見ながら樹形を整えていく。

さらに、他自治体の事例を参考に長期的な管理方針を検討し、国道285号や県道秋田八郎潟線の榎並木を、町のシンボルとして残していく。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



しいな しほ
椎名 志保

一般質問動画はQRコードから



給食日本一の町 地場産食材の継続を

教育長 持続可能な体制を確保する

椎名 平成21年、地元の生産者グループが組織され、学校給食へ米や野菜を中心とした地場産食材の納入が始まった。平成26年には地場産率が41・1%となり、給食日本一である文部科学大臣賞を受賞した。

現在の地場産食材の納入率は、取組みから17年、課題は何か。

教育長 令和7年度は野菜15品目の納入で、小学校26・4%、中学校15・5%。米は100%を維持している。野菜が旬の時期に偏り、年間通しての納入は難しい。会員減、高齢化による納品数量の減少がある。生産者グループの意見や生産現場の状況を把握し、安定した納入体制の確保を検討していく。



子どもの身体の1/3は給食から

椎名 調理員の確保が難しく、中学校調理設備の老朽化も著しい。自校炊飯、自校調理による温かく安心安全な給食の提供をどう維持していくか。

教育長 今年度1名の調理員を採用している。また、施設を修繕しながら維持していくだけでなく、将来の提供体制を検討していく必要があると考える。

すべての農家を 支える施策に

椎名 農業機械の導入・修繕へ補助する農業経営継続支援事業が立ち上がり、当初予算の2倍を超える申し込みがあった。購入28件、修繕1件をどう分析しているか。財源とするふるさと納税が



町の農業を守れ

ふるわな中、今後の財源確保をどう考えているか。中間事業者に課題があるなら、早急に改善し、仕組みを整えるべきだ。

町長 「機械の故障が離農の引き金になる前に、補助を活用し確実に新機を確保したい」という防衛心理が働き、修繕よりも購入へ需要が偏ったととらえる。

ふるさと納税のPRなど努力しているが、財源確保が困難な場合、来年度以降は予算の増額は行わず、上限額の見直しなど検討していく。

椎名 新機導入と修繕とは意味合いが異なる。これまで

ごみ集積場所の 見直しを

椎名 高齢化が進み、指定されたごみの集積場所への運搬が困難との声が届いている。空き家が増え、従来の集積場所が現在の住民の状況に合致していない場所もあるのではないかと。各町内会に呼びかけ実態を把握し、現状にふさわしい集積場所にすべきではないか。

町長 住宅や道路事情に変更が生じたなど町内会から申し出があれば、交通状況や設置場所の安全を確認し、集積所の増減・移動を認めている。現状に合った持続可能なごみ収集に取り組んでいく。

第3回臨時会

令和8年7月15日

付議案件

- (1) 工事請負契約の締結について
令和8年度 道路メンテナンス補助事業 寺庭橋橋梁補修工事 9570万円
- (2) 物品売買契約の締結について
令和8年度 五城目町教育用タブレットPC購入 2558万円

(3) 令和8年度五城目町一般会計補正予算(第3号)

- ・物価高騰対応水道料金減免事業 1040万円
- ・酒造業価格高騰対応支援事業 577万円
- ・温水プール改修工事 572万円

(4) 令和8年度五城目町水道事業会計補正予算(第2号)

- ・システム改修費 110万円

全議案を全会一致で可決した。



子育て支援拠点施設説明会を開催

第4回議会議員 全員協議会

令和8年7月15日

報告案件

- (1) 子育て支援拠点施設設置に係る取組状況等について
- (2) 五城目町農業経営継続支援事業に係る取組状況について

第5回議会議員 全員協議会

令和8年8月24日

協議案件

- (1) 指定管理期間の変更について

報告案件

- (1) 五城目町総合発展計画後期基本計画の策定について
- (2) 五城目町農業経営継続支援事業に係る申込状況について
- (3) 子育て支援拠点施設の基本設計について

議員研修報告

公民連携で 地域再生を

【研修名】

令和8年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー

【研修期間】

7月27日～28日

【研修先】

滋賀県大津市

全国市町村国際文化研修所

【参加議員】 椎名 志保

適正な議員定数とは

【研修名】

秋田県町村議会議員研修

【研修期日】

7月30日

【研修先】

秋田県市町村会館

【参加議員】

議員全員

将来を見据えた 予算を

【研修名】

令和8年度市町村議会議員研修

【研修期日】

8月6日～7日

【研修先】

滋賀県大津市

【参加議員】

中村 司

住民と議会をつなぐ 広報とは

【研修名】

令和8年度町村議会広報研修

【研修期日】

8月28日

【研修先】

東京都 LINE CUBE SHIBUYA

【参加議員】

石井和歌子

陳情と 意見書

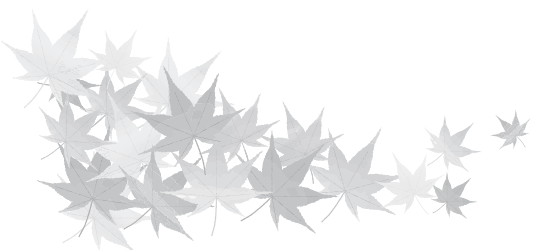
不採択

◆ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める陳情書

陳情者

自然ネットワークあきた

山下 友宏

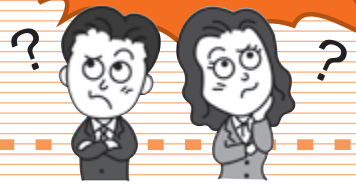


(佐沢由佳子)

あれ

な なんと なった べが!

令和7年9月定例会一般質問より



問

町のホームページは目的のページにたどり着くまでに手間がかかる。全面的な見直し、再構築を行ってはどうか。

1年前の答弁 全面的な見直し、再構築は現在考えていないが、情報の整理が必要と考えている。

現在 来年度には、町ホームページの大規模なシステムリ



リニューアル予定のホームページ

問

労働力不足により不耕作農地が増加し、荒廃農地が増加する不安を抱える農家がいる。その予防策は。

1年前の答弁 多面的機能支払交付金事業なども実施し、農地管理に支援を行い、荒廃農地の増加抑制を図っていく。

現在 多面的機能支払交付金事業の活用や、新たに創設した農業経営継続支援事業により農業者の生産意欲の向上を図り、継続して荒廃農地の抑制に努めている。



エコー検査で早期発見

問

定期健診に腹部超音波検査を加えたが、実施件数が少なく予約が難しい。近隣自治体ではどうか。

1年前の答弁 担当医1名で対応し50名以上の予約は難しい。現在は八郎潟町と当町の2町の導入である。今後も新規の方を優先し、予約数は確保していきたい。

現在 令和8年度の腹部超音波検査を実施している自治体は、新たに井川町と大潟村が加わり3町1村で実施している。町村ごとに期間を設定して検査しており、検査の継続実施に向けて、今後も湖東厚生病院と協議をしながら進めていく。

問

八郎潟町では軽量リュックを無償配布し、5割の児童が使用している。入学準備費用負担と身体的負担の軽減となる。当町でも採用の検討を。

1年前の答弁 児童生徒の携行品の重さについて、本町でも児童の身体的な負担軽減に取り組んでいる。近隣町村の状況や事例を参考にして、総合的な子育て支援策を検討する。

現在 必要以上に荷物を持ち帰らないよう学校と連携して取り組んでいる。現時点で軽量リュックを導入する考えはない。保護者の経済的負担については、既存の取組の充実を含め検討していく。

議会を語ろう

朝市ふれあい館にて

11月5日(木) 18:00~
6日(金) 18:00~
14日(土) 10:00~

参加してね!

中間報告

議会改革調査
特別委員会

議員定数について

現在の議員定数は14人

Q 今後の議員定数は

・現在維持 4人 ・1人削減 1人
・2人削減 7人 ・増やす 1人

意見

○人口だけで判断せず、監視機能や政策提言機能を果たすため、現行の14人が適正であり、見直しは町民への十分な説明と理解を得た上で慎重に判断すべき。
○女性や若年層が参画しやすい議会であるよう、削減し当選のハードルを上げるべきではない。
○多様な意見が反映され、委員会での質疑が十分なものであるため、現状維持。
○議会改革を進める一歩として1人削減。
○現在の人口、今後の人口推移を想定し、削減すべき。
○思い切った改革として削減が必要。現状維持ではない動きを町民に伝える。

○2委員会で最低6人ずつが必要なものから、現在の体制を維持できる12人に。
○各町内会長を議員にするか、準議員とし報酬を出し、地区とのつながりを強くする。

議員報酬について

現在の月額報酬は235,000円。

このたびの調査で、期末手当の支給割合がどの町村よりも低く、是正すべきとの意見があった。多くの町村が用いている支給割合は、県に準じているものと思われる。

Q 今後の議員報酬は

・報酬も期末手当支給割合も引き上げる 3人
・報酬は現状維持、期末手当支給割合を引き上げる 7人
・報酬も期末手当支給割合も現状維持 3人

意見

○平成18年より報酬は見直されていない。月額5,000円(10,000円程度引き上げすべき。
○インフレ率を考慮し、報酬の引き上げを。なり手不足に対応するため期末手当を是正するだけでなく、根拠ある報酬の引き上げを。
○議員は本会議・委員会だけでなく調査・研修・町民対応・地域活動など責任と負担が大きい。若い世代や現役世代が議員を目指し、活動が継続できる環境を整えるため、活動の実態や責任に見合った期末手当の引き上げを検討すべき。

今後、議員の活動実態、これまでの検討内容、参考資料などを示し、町民の皆さんと議会を考える会「議会を語ろう」を開催し、更に検討を深めることとしている。

議会改革調査特別委員会
委員長 椎名 志保

資料2 原価方式による議員報酬の算出(参考値)

・首長職務日数(平均) 305日
・町村議会議員の職務遂行日数(平均) 107日(原価方式を採用した31団体の平均)
・五城目町長の報酬をもとに
 $720,000円 \div 305日 \times 107日 = 252,590円$

資料1 秋田県内町村議会議員定数・月額報酬調べ(R8.9現在)

町村名	議員定数	議員報酬	期末手当支給割合
美郷町	16人	255,000円	100分の172.5%
羽後町	12人	253,000円	100分の172.5%
三種町	15人	241,000円	100分の163.75%
小坂町	10人	237,000円	100分の172.5%
五城目町	14人	235,000円	100分の126.25%
井川町	11人	235,000円	100分の172.5%
藤里町	10人	233,000円	100分の171.25%
八峰町	12人	233,000円	100分の171.25%
上小阿仁村	8人	214,000円	100分の171.25%
東成瀬村	10人	211,000円	100分の172.5%
大潟村	12人	199,000円	100分の172.5%
八郎潟町	12人	186,000円	100分の157.5%

わたしの居場所

楽しく元気に!!



『館越いどばたサロン』

代表 さいとう 齊藤 □□さん

活動のきっかけは

令和2年8月、民生委員と福祉員の呼びかけで始めた。最近の話題や町内会のこと、自分のことなど、「集まって話そう。みんなでやりたいことをやろう」という思いから、公民館を開放して活動している。

どんな活動ですか

現在は67歳から91歳までの11人が参加。月1回から3回ほど集まり、料理講習、手芸、脳トレ、さなぶり、収穫感謝祭、研修旅行、クリスマス会、百万遍念仏講、読み聞かせ、みんなの学校への参加など、さまざまな活動を楽しんでいる。時にはJICAの方や、畑で知り合った方、集落支援員なども訪れ、交流の輪が広がっている。みんな協力的で、興味のあることも多く、話は尽きない。

これからの目標は

健康で毎日を過ごし、サロンに来ることで元気になれる、そんな場としてみんなで楽しく続けていきたい。

(伊藤 信子)

がんばってます

全力プレーで感動を



五城目第一中学校
3年

かわかみ 川上 □□さん

僕は中学2年生のときに走ることが好きになり、最近は毎日のように走っています。足が速くなりたいと思い、筋トレや短い距離を何度も走っています。走るときに意識していることは、腕の振り

とスタートの前傾姿勢とピッチ(足の回転数)とストライド(歩幅)です。ピッチとストライドを使うと段々加速して、後半の勝負で粘り強くなりました。



長い距離を走ることも好きで、10月上旬にある全国中学校駅伝競走大会に出場します。チームの目標は東北大会出場なので、目標に向かって日々切磋琢磨しています。皆が最後まで諦めず6人で襷をつなぎきり、有終の美を飾って感動と勇気を与えたいと思います。

今は野球のクラブチームにも所属しています。どちらも支えてくださる方々への感謝を忘れず全力で取り組みたいです。

(伊藤 信子)

編集

後記



実りの秋を迎え、田んぼが黄金色に染まり、稲穂が頭を垂れる季節となりました。毎年丹精込めて育てた稲が実る風景は、私たちの大切な財産であり、暮らしを支えてくれています。

今年は田んぼのあちらこちらで稲の倒伏が見られ、稲刈りをする農家の皆さんのご苦労がしのべれます。無事に収穫を終え、五城目のおいしい米が食卓に届くことを願っています。

議会だよりは、町民の皆さんの暮らしや声に寄り添うことで、身近に感じ「次の議会だよりも読んでみよう」と思っていただけの紙面を心掛けてまいります。

議会広報編集委員会
副委員長 伊藤 信子 記

